



雪深いこの地域の暮らしには、深い庇のある軒下空間が欠かせない。内と外が緩やかにつながるこの空間は、暮らしを豊かにしてくれる



土間に薪ストーブを置けばそれだけで、家族はもちろん気の置けない友人やご近所の人たちも気軽に集まれる交流の場のできあがり



南北の全ての建具を引き込むと内と外が繋がり、花の香りや吹き抜ける風等、四季の移ろいを感じる暮らしを愉しめる「暮らしギャラリーふくらの杜」



玄関から続く通り土間は、絵や花を飾ったり、季節のしつらえを愉しんだり。暮らしを豊かにすることができる空間だ



来客を丁寧にお迎えする“迎えの間”のある玄関。ゲストに好印象だけでなく、二世帯同居にも使い勝手が良い



「暮らしギャラリーふくらの杜」は、土間、深い庇、どっしりとした骨太の柱や梁等、昔ながらの湖北の家の良いところを現代の住まいに活かした湖北の暮らしを体感できる展示場

元々そこにあつたような佇まいになるよう、地域の風景に馴染む家づくりを大切に考えています」と川瀬社長。
雨や雪の多いこの地域の気候風土に合わせた同社の家は、構造材にこの地域の家で昔から使われていたスギやヒノキを使用し、軒は深く、柱もどっしりとしている。揺らぐ炎に心癒される薪ストーブのある暮らしも数多く手がけ、新築だけでなく、リフォームや大規模なリノベーションも施工可能だ。
このページの画像で紹介している、モデルハウス「暮らしギャラリーふくらの杜」では、そんな同社の目指す家づくりを体感することができる。

うちぼせいざい 内保製材株式会社

感性を育み、心と体に優しく響く「感響の家」
地域密着で国産無垢材100%の家を建てる工務店

滋賀県長浜市は、江戸時代に徳川幕府直轄の天領として杉林の伐採と植栽が厳しく管理されたことで、「谷口杉」と呼ばれる樹齢70年から300年の見事な大スギが立ち並ぶ美しい森を擁している。そんな豊かな森林に恵まれた地域で昭和25年に製材業から始まった「内保製材」は、2020年に創業70周年を迎えた地域密着型の工務店だ。
当初は地元の大工たちに材木を卸していたが、やがて地域の人たちから直接「家を建ててほしい」という声をいただくようになると、それに応える形で住宅建築に取り組み始めたという。現在は三代目社長・川瀬之洋氏とその弟の専務・川瀬文明氏が、兄弟で創業者である祖父や先代社長である父の想いを受け継ぎ、国産材と職人の技にこだわった家づくり・暮らしづくりをしている。
同社が「住まう人と環境に安心・安全な自然素材の家」を目指してつくる「感響の家」は、国産無垢材の良さを知り尽くした職人が厳しい目で自ら選び抜いた滋賀県産材・市産材をはじめとする、国産材100%の無垢の木の家。大工や職人の技が木材の良さを最大限に引き出し、五感を育む暮らしのために自然素材をふんだんに使用しているのが特徴で、その名には文字通り「感性を育み、こころからだにやさしく響く家」という意味が込められている。
自社設計の「つながり間取り」が子供たちの思いやりを育むとともに、家中どこにいても家族の気配を感じる暮らしを実現してくれ、アフターメンテナンスも万全だ。
「当社の家づくりは、昔から続く文化や暮らしを次の世代に繋いでいく、地域を想う家づくりです。また、家は風景であり、



写真左：吹き抜けが開放的な寛ぎの間。一段下がった土間には薪ストーブがあり、目の前に広がる庭を望む開放的な暮らしが楽しめる。写真右：薪ストーブのある温もりの空間で、読書をしたりコーヒーを飲んだり、定年後のご夫婦2人でのんびりとした時間を過ごせるのが魅力



国産無垢材100%の木の家の心地良さを体感できる「暮らし体感型モデルハウス内保展示場」は、家族みんなで宿泊もできるのが特徴。吹き抜けを介して1階と2階が繋がりと、どこにいても家族の気配を感じることができる。家族が集まるリビングとダイニングの間で存在感を放つのは、山の木をそのまま伐って磨いたような柱「安樹」。手で触れると木の丸みや凹凸を感じられるこの特別な柱は、節を使って木登りすることもでき、住まいの中で自然そのものや安らぎを感じて暮らすことができ「木と自然への想い」を象徴する柱である。畳の間は、普段は寛ぎの間の延長として、来客時には襖を閉めると落ち着いた空間に



和モダンにリノベーションした家。ダイニングの畳敷きの間は、一段下がったキッチンから料理をしながら家族やゲストと目線が合うように配慮され、「座」の暮らしを楽しむことができる



目隠しになっている木製の格子から柔らかい光が差し込む玄関。大容量のウォークスルー収納でいつも玄関はスッキリと



リビングへつづく階段の途中にある畳敷きのスキップフロア。窓からの景色を眺めるのも楽しい空間



「暮らし体感型モデルハウス内保展示場」のダイニングキッチンには、広々使って料理も片付けもはかどる木製アイランドキッチンを配して。床や天井はもちろん、吊り戸棚やシステムキッチンも木製にこだわっている



炎の揺らめきに心癒される薪ストーブは、体も心もあたためてくれる



庭の緑と調和する外観。芝生が一面に広がる庭は季節の移ろいを愉しむことができ、暮らしを豊かにしてくれる



外壁は杉の板張り、しっとりとした和の佇まいの平屋



存在感のある大屋根の平屋建て。玄関扉の前には視線を遮るための壁を配し、正面から見えない工夫をしている



雄大な伊吹山を望むロケーションを存分に愉しめる暮らし



お問い合わせ
 ●0749-74-0161
 ●住/長浜市内保町7
 ●営/8:00~17:00
 ●休/水曜日、祝日
 ●https://www.uchiboseizai.com

●施工エリア
 ・滋賀県全域

※詳細につきましてはお問い合わせください

同社では、家づくりに携わる職人たちが参加し技術発展や満足度向上を目指す「感響匠の会」を定期的に行い、お互いが意識を高め合う場としている。こうした日々の努力と研鑽を惜しまない木のプロ、家づくりのプロが手掛ける住まいだからこそ、信頼に値するのだ。そして地域工務店として「家をつくる」だけでなく、この地で暮らす皆さんが幸せを感じ、この地域がより豊かになることも地域「公務店」の大切な役割だという考えのもと、材木屋としての強みを活かした家を滋賀県内全域でコツコツとつくり続けている。

とは言い、どんなに詳細に説明してみてもその家の住み心地は住んでみなければ分からない。そこで同社では木の家の住み心地と安らぎを体感できる「暮らし体感型モデルハウス内保展示場」をご用意し、ご家族揃って一泊していただく「試住」をおすすめしている。同モデルハウスでは、どんな時も優しく包んでくれる木の家の懐の深さを実感できるだけでなく、憧れの薪ストーブのある暮らしも体感することができる。

さらに2013年からは、土間、深い庇、どっしりとした骨太の柱や梁といった昔ながらの湖北の家の良いところを現代の住まいに活かしたモデルハウス「暮らし体感型モデルハウス」を地域の皆さんの憩いの場として無料開放しており、カルチャークラスやサークル活動、親子イベントなどを通して多くの地域の方たちがここでの出会いと時間を愉しむ「暮らしの駅」として定着している。

また、左ページでは、実際にお客様が建てた家々をご紹介しているので参考にしてみてください。滋賀県内で家づくりを考えているなら、あなたとご家族の家づくりへの想いにことごとん向き合い、その想いをより良いものへとカタチにしてくれる「内保製材」に相談してほしい。きっと理想の家づくりに一歩近づけるはずだ。